

この図はRA-H77を使用しています。

—お買い上げありがとうございます—

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は、必ずお読みになり安全にお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1453-001A

ご相談や修理は

本機についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

お買い物相談や製品についての一般的なご相談
お客様ご相談センター

0120-2828-17
携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
(045)450-8950
FAX(045)450-2275
〒221-8528
神奈川県横浜市神奈川区守屋3-12

ビクターインターネットホームページアドレス
http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV&マルチメディアカンパニー
〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

取扱説明書・保証書

保証書		持込修理
型名	RA-H77/RA-H55	製造番号
お名前	ふりがな 様	
お客様住所	〒□□□-□□□□ 電話() -	
お買い上げ年月日	お保期間	お買い上げ日から
年 月 日	本体	1年間
お買い上げ店名・住所・電話番号		

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行なうことをお約束するものです。

- 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料修理または商品の交換をさせていただきます。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
- 次のような場合は、保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合、および本書に記載の字句を書き換えられた場合。

- (3)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (4)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - (5)火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
 - (6)不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。
 - (7)一般家庭以外（例えば業務用等への長時間使用および車輛（車載用を除く）、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (8)消耗品（電池など）の消耗。
 - (9)持ち込み修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様の負担とさせていただきます。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
4. この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって日本ビクター（株）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙のビクターサービス窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

お客様へのお願い

- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちに買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認ができる書類（シールやレシート等）の添付でも構いませんので、大切に保管してください。
- ご購入品等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼にならない場合は、別紙「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にお申し出、ご相談ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書

所定事項の記入及び記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げの日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ラジオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、ご購入先、または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

この取扱説明書に従ってお調べください。それでもなお不具合のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様の要望により有料で修理させていただきます。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

安全上のご注意 —必ずお守りください—

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

- 警告** この表示の注意文を守らないと人が死亡、または重傷を負う可能性がある内容です。
- 注意** この表示の注意文を守らないと人が傷害を負う、または物的損害が生じる可能性がある内容です。

絵表示について

- 注意・警告が必要な事項 (図中に具体的な注意内容)
- 禁止されている事項 (図中に具体的な禁止内容)
- 実行して頂きたい事項 (図中に具体的な実行内容)

万一こんな時は

- 煙が出たり異臭がするとき
- 落下などにより壊れたとき
- 内部に水や異物が入ったとき

そのまま使用すると火災や感電の原因になります

電源スイッチを「■切」にする/電源プラグを抜く

販売店に修理を依頼してください

警告

- 電源コードを傷つけない。**
 - 加工したり、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、熱器具に近づけるなどしないでください。
- 表示された電源電圧(交流100ボルトまたは直流6ボルト)で使用する。**
 - 表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。
 - This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 雷が鳴り出したら、アンテナや電源プラグに触れない。**
 - 感電の原因になります。
- 風呂場やシャワー室では使用しない。**
 - 火災や感電の原因になります。
- 分解や改造をしない。**
 - 火災や感電の原因になります。
 - 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。**
 - 発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは定期的に清掃する。**
 - 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

注意

- 次のような場所には置かない。**
 - 湿気やほこりの多い所。
 - 暖房器具の近くや直射日光の当たる所などの高温になる所。
 - 調理台や加湿器のそばなど、煙や湯気が当たる所。
- 電源プラグはコードの部分を持って抜かない。**
 - コードの損傷による火災や感電の原因になります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**
 - 感電の原因になります。
- 移動するときは、電源プラグを抜く。**
 - コードの損傷による火災や火傷の原因になります。
- 長期間使用しないときや、お手入れをするときは、電源プラグを抜く。**
 - 感電の原因になります。
 - 電源スイッチが「■切」でも本機には電気が流れています。
- 移動するときは、アンテナをたたむ。**
 - けがの原因になります。
- はじめから音量を上げすぎない。**
 - 突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。
- イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎない。**
 - 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。
- 電池の取り扱いに注意する。**
 - 電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
 - 指定以外の電池を使用しない。
 - 電池を加熱・分解しない。
 - 火や水の中に入れてない。
 - 乾電池は充電しない。
 - 電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない、ショートさせない。
 - 一度使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使用しない。
 - 長期間使わないときは、電池を取り出しておく。
 - 交流100ボルト電源で使うときは、電池を取り出しておく。

もし、電池が液もれしてしまったときは、電池ケースについた液をよくふきとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

主な仕様 一本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。—

受信周波数	RA-H77	TV: 4チャンネル~12チャンネル FM: 76MHz~108MHz (TV: 1チャンネル~3チャンネル)
	RA-H55	AM: 530kHz~1605kHz FM: 76MHz~90MHz
スピーカー		10 cm×1、インピーダンス4Ω
出力端子		イヤホン×1
実用最大出力		800mW(JEITA*)
電源		AC100V、50 Hz/60Hz DC6V、市販の単2形乾電池4本使用
消費電力		電源「入」時 4W 「切」時 0.5W (AC電源)
電池持続時間		単2形(LR14)アルカリ乾電池使用時 (JEITA*)

周囲の温度や使用状況、電池のメーカーや種類により、上記の電池持続時間と異なることがあります。

最大外形寸法 幅203mm×高さ181mm×奥行128mm

質量 約1.4kg (乾電池含まず)

*JEITAは電子情報技術産業協会の規格による数値です。

別売りアクセサリ

電源コード CN-325A (長さ1.8m)
別売りアクセサリは、お買い上げの販売店でお求めください。

お知らせ

●本機のスピーカーは防磁タイプではありませんので、テレビの近くに設置すると色ムラを生じることがあります。テレビの近くに設置するときは1m以上離して設置してください。

お手入れ

本体が汚れたときは、乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少し布につけて軽く拭いたあとからぶきします。

お知らせ

- アルコールやシンナーなどは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きに従ってください。

ラジオを聞く前に

家庭用コンセントで使う場合

1 電源コードを本体の AC IN 端子に差し込む。

2 家庭用コンセントへ差し込む。

●長い間お使いにならないときは、電源コードを家庭用コンセントから抜いてください。電源が切れていても、電源コードが接続されていると約0.5Wの電力を消費します。

イヤホンを使う場合

1 イヤホンポケットからイヤホンを取り出す。

使わないときは、ここにイヤホンを入れておくと便利です。

2 イヤホンをイヤホン端子に差し込む。

スピーカーから音が出なくなります。

乾電池で使う場合

1 電源コードを本体の AC IN 端子から抜く。

電源コードが本体につながれていると、乾電池では使用できません。

2 電池入れのふたを外す。

3 単2形乾電池（市販）4本を番号順に入れる。

乾電池の⊕と⊖の向きを正しく入れてください。

4 電池入れのふたを元通りに閉める。

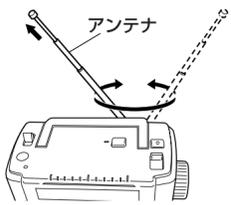
●長い間お使いにならないときは、乾電池を取り出しておいてください。
●乾電池が消耗してくると音が小さくなったり、音が割れたりします。このようなときは、4本とも新しい乾電池と交換してください。

ラジオを聞く

もっとも良く受信できるように調節します。

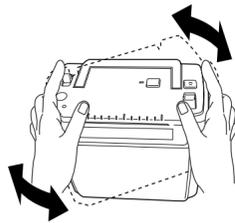
FM放送・テレビ放送の場合

アンテナの長さ・向き・角度などを調節します。



AM放送の場合

ラジオ本体の向きを変えて調節します。

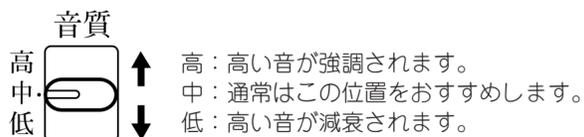


お知らせ

- 窓際に置くと受信しやすくなります。
- 車やビルの中などでは受信しにくくなります。
- 本体を金属製の机などに近づけると、受信状態が悪くなることがあります。
- 本機のテレビ受信回路は、FM放送の受信回路と兼用しています。地域によっては、テレビの2chまたは3chの音声を聞いているとき、FM放送の音が混ざって聞こえることがあります。(RA-H77)
- 他の家電製品からの雑音によって、受信状態が悪いときも「同調ランプ」が点灯することがあります。

音質を調節する

音質スイッチを好みの位置に合わせます。



暗いところで選局する



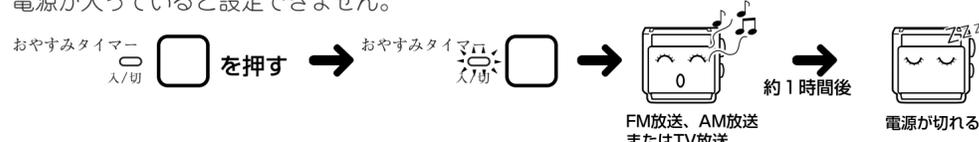
目盛り板を照らすランプが約30秒間点灯します。暗いところで放送局を選んだり確認がしやすくなります。

選局目印

よく聞く放送局に選局目印を合わせておきます。選局目印を目安に選局つまみを調節すると選局しやすくなります。

おやすみタイマー

電源スイッチを押して「入」にする。電源が入っていると設定できません。

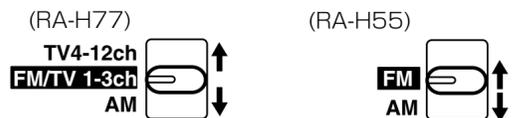


おやすみタイマーを途中で解除するには、おやすみタイマーボタンをもう一度押します。ランプが消えて、おやすみタイマーが解除され電源が切れます。

1 電源を入れる

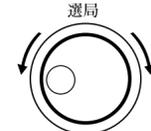
電源スイッチを押して「入」にします。電源を切るときは、もう一度押して「切」にします。

2 バンドを選ぶ



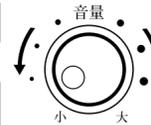
バンドを切り換えると目盛り板も切り換わります。

3 放送局を選ぶ



選局つまみでダイヤル指針を放送局に合わせます。受信すると同調ランプが点灯します。

4 音量を調節する



音量つまみで適度な音量に調節します。

この図はRA-H77を使用しています。